

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成23年度第3回定例会会議記録
開催日時	平成23年6月22日（水曜日） 18時30分から20時20分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：西嶋剛昭、中曾根聡、渡辺文子、千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、西原みどり、大島眞之、福島憲子、加藤真理、萩原建次郎、新藤浩伸 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、寺嶋分館長、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長
欠席者	委員：幸内悦夫
議題	1 第2回定例会の記録について 2 報告事項 (1) 行政報告 (2) 事業計画書・事業報告書について (3) 公民館だより編集室報告 (4) 都公連委員部会運営委員会報告 3 協議事項 (1) 防災対策について (2) 西東京市における公民館の意義（平成20年、23年の答申づくりを通じて）をパワーポイントで解説。…萩原建次郎委員 4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	(1) 第2回定例会会議録 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 西東京市における公民館の意義（平成20年、23年の答申づくりを通じて） (4) 公民館における「子育て支援」の役割について…（諮問・答申） (5) 西東京市公民館の事業評価のあり方について…（諮問・答申） (6) 事業計画書 1.健康講座「ピラティス」（芝久保） 2.ビギナーズ現代学（夏編）「被災地の現在を知る 宮古の日常」（谷戸） 3.青少年講座 模型飛行機をつくって飛ばしてみよう（田無） 4.現代社会の子育てビジョン・保育付き（田無） 5.キッズ日本文化体験教室 ゆかた着付・茶道・和菓子作りに挑戦（ひばりが丘） 6.シニアのための仲間（元気）づくり講座（クッキング・探索・講演）（柳沢） 7.外国人のための日本語講座 保育あり（柳沢）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り（2人） 無し
会議内容	
<p>(1) 第2回定例会の記録について 配付した記録のとおりとする。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>1.行政報告 2件</p> <p>館長： 公共施設の夏期節電計画について。節電行動計画に基づき、各公民館17パーセントから18パーセントの前年度減をめざすことになる。また、節電協力ポスターを各公民館で張り出す予定である。併せて、熱中症に気をつける旨のポスター類も配布。 3月に出された公民館独自のホームページ作成についての陳情が不採択となった。一方、公民館としても、ホームページの使いやすさ、見やすさについて努力していきたいと思い、次の対策を講じ</p>	

た。具体的な工夫としては、市ホームページのトップページの「楽しむ」からの公民館情報記事の入口を増やした。また、併せてトップページの「教育委員会」からの公民館情報の検索を可能とした。

委員：

陳情の具体的内容は。

○館長：

公民館独自のホームページを立ち上げてほしい旨の内容であった。

委員：

節電対策として、各公民館はどのような対策をとるのか。外気温の変化にどのように対応するのか。

館長：

窓明け、扇風機とクーラーの併用など、臨機応変に各館で対応したい。

委員：

今後は、窓の開け閉め対応もあると思われるが、窓に網戸を設置することは考えているか。

委員：

節電については、長期的視野が必要。機種によって節電能力が異なるので、エコ対応機種に順次変えていくことが重要である。また、前年前月実績電気使用量などを掲示するなどして、利用者にもさらなる協力を求めていく方法も検討してほしい。

館長：

今後も計画的に予算要求を検討していきたい。

2.事業計画について（『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答）

・夏休み向け子ども対象の講座について

・ビギナーズ現代学（夏編）「被災地の現在を知る 宮古の日常」、ビギナーズ現代学（夏編）「被災地の現在を知る 宮古の日常」、キッズ日本文化体験教室 ゆかた着付・茶道・和菓子作りに挑戦など、夏休みの子どもが参加できる講座が企画されていてよいと思う。

・講師が公民館の利用関係者について（キッズ日本文化体験教室 ゆかた着付・茶道・和菓子作りに挑戦、外国人のための日本語講座）

・講師が公民館の利用サークルの方やスタッフ養成講座修了者であり、公民館側も講師サイドも双方大変よい機会を得ることができる講座であると思われる。

・講師の開拓について

・同じ講師が二つの公民館で講師をされている。今後の課題として、新たな講師の開拓を積極的にしていくことも必要と思われる。

・食中毒の予防について

・この時期は、食中毒を最も注意しなければならない時期である。今回食べ物に関する講座がいくつかあるが、十分注意して講座を実施していただきたい。

・ビデオカメラの補講について

・今回の講座ではないが、財政学講座でビデオで補講していると聞いているが、具体的に理由を知りたい。

→財政学講座は参加者から難しいとの意見を受けて、欠席者用、または復習用に職員が撮影をしている。

・健康講座「ピラティス」について

・4回の講座だが、単発の参加は可能か。

→原則4回参加できる方を募集したい。

・まだ猛暑の時期の講座なので、定員を25人から20人にしてはどうか。

→本来なら50人が定員の部屋でもあり、25人から20人に熱さ対策から人数変更する考えはない。むしろ、職員としては、熱中症対策から、適宜の休憩時間及び水分補給の設定を参加者に実施していくことが重要であると考えている。

・ピラティス講座の対象者を考えているか。

→夜間の時間設定をした時点で、勤労者を基本的に考えている。

・ピラティスという言葉はなじみがないと思われる。PR時に全面に説明を出してはどうか。

→ピラティスは、最近若い女性を中心に普及しているようだ。しかしながら、一般にはまだ確かに普及しているとは言いにくい。企画書に記載したように、募集時にはピラティスの解説は掲載したい。

・ビギナーズ現代学（夏編）「被災地の現在を知る 宮古の日常」について

・この講座は時期を得た講座であると思う。このような講座はぜひ次につなげていってほしい。今後の報告を楽しみにしている。

・青少年講座 模型飛行機をつくって飛ばしてみようについて

・実施期間を夏休みに合わせて、できればもう1週間早めたらよかったと思うが。

→日程については、講師との調整がつかず、やむなくこの日程となった。

・親の参加は可能か。

→原則、対象は小学校3年生から中学3年生で実施したい。内容も十分この対象者で参加できるものになっている。

・スタッフが多く必要ではないのか。また、飛行機はどこで飛ばすのか。

→講師の知り合いのスタッフが何人か当日参加予定である。飛ばす場所は、公民館の視聴覚室である。

・公民館の視聴覚室では、狭いと思われるが。体育館や外の広場でゆったりと体験してもらってはどうか。

→場所については、いくつか検討したが、隣のきらっとの体育館は有料であり、最終的に公民館視聴覚室に決定した。今回の目的が飛行機を飛ばすことではなく、飛行機の構造をすることにあることから以上の通り判断した。

・現代社会の子育てビジョン・保育付きについて

・内容はよいと思うが、タイトルが堅いのではないか。内容が伝わるタイトルに工夫をすればと思うのだが。

・キッズ日本文化体験教室 ゆかた着付・茶道・和菓子作りに挑戦について

・この公民館は調理室はないと思ったが、どこで和菓子を作るのか。

→ガスの供給設備がある「講座室1」を使用。補助で携帯用ガスコンロも使用。抹茶は、和室に移動していただく予定をしている。

・シニアのための仲間（元気）づくり講座（クッキング・探索・講演）について

・川越など遠方にも出かける企画であるが、引率スタッフはどうなっているのか。

→社会教育指導員OBが4名、職員2名の合計6名となる。

・シニアの仲間作り長期講座の企画であれば、9回目の講座は、公開講座にして、翌年の仲間作りにつなげていくようにしてはどうだろうか。

→検討してみたい。

・以前、住吉公民館でシニア講座に参加したが、シニアの仲間作りの大切さを実感している。この講座がきっかけで、シニアの活動が続くことを願っている。

→仲間作りを、地域作りにつながるよう講座をはじめていきたい。

3. 公民館だより編集室報告

詳しくは添付の報告書のとおり。

その他特に質問なし。

4. 都公連定期総会報告

7月16日もしくは23日土曜日の午後1時30分から4時まで、国分寺市の公民館で、第1回の委員部会研修を実施予定。今週24日の金曜日に決定。

※都公連から、稲城市、多摩市の脱退したことを受け、会議はこの件が話題となった。大会開催の負担軽減ための努力を今後視野において運営を図ることが確認された。

5. 都公連課題別研修会の申込について

立川市多摩社会教育会館（6月29日水曜日2時～4時半）

希望者は、柳沢公民館まで申し込んでほしい。

(3) 協議事項

1. 公民館の防災対策について

委員：

※今回の震災を受け以下を検討してほしい。

1. 各公民館内に防災用品の確保「毛布など」
2. 各公民館独自の災害マニュアルの作成と職員の共通認識の徹底。
3. 各公民館で地域住民と協力を見据えた速やかな防災訓練の実施。

館長：

危機管理室主催で、公民館、保育園等の施設があつまり災害検討会議を実施した。危機管理室では、各公民館に防災備品を今後配布する予定があると聞いている。

防災訓練を柳沢公民館、図書館独自で今回実施した。今提案のあった同意見は、今回の訓練参加者からも聞いたところである。

2. 西東京市における公民館の意義（平成20年、23年の答申づくりを通じて）をパワーポイントで解説。…萩原建次郎委員より

※詳しくは添付の資料のとおり

委員：

今回の解説は私のような新人委員には参考になった。この資料で社会教育法29条の公民館運営審議会委員は調査審議するものとの記載があるが、その役割をお聞きしたい。また、講座の見学は受け入れていただけるのか。

○館：

受け入れ可能である。

委員：

事業のプロセスを理解することも委員の役割である。

館：

調査・研究は、委員の皆さんが自主的にテーマを決めて、この会議の中でも研究・調査することができる。諮問・答申という形にとらわれず、提言という形で公民館へ提出することも制度として可能である。

○委員：

制度ということでは、小金井市公民館では、企画委員制度もあると聞いているが。自分自身の実体験からだが、公民館の主催講座と市民企画事業の講座では、公民館初心者には公民館主催講座は敷居

が低く、初心者にはありがたい事業であった。

○委員：

これから地域に新たにデビューする住民にとっては、公民館の主催講座の敷居の低い意義は大変重要なポイントであると思われる。

○委員：

私も公民館で異世代を取り込んだ音楽のフェスタの参加をキッカケで、普段出会えない世代の人たちと関わった。その後、この関係が今も続いている。やはり、公民館の主催講座の重要な役割を見直せた思いだ。

(4) 事務連絡及び情報交換

特になし。

(5) 次回の日程について

日程は以下のとおり

7月27日（水曜日） 18時30分 於：田無公民館 第二学習室